

2020年11月の
国内向け／輸出向け出荷の動向
図表集

2021年1月8日

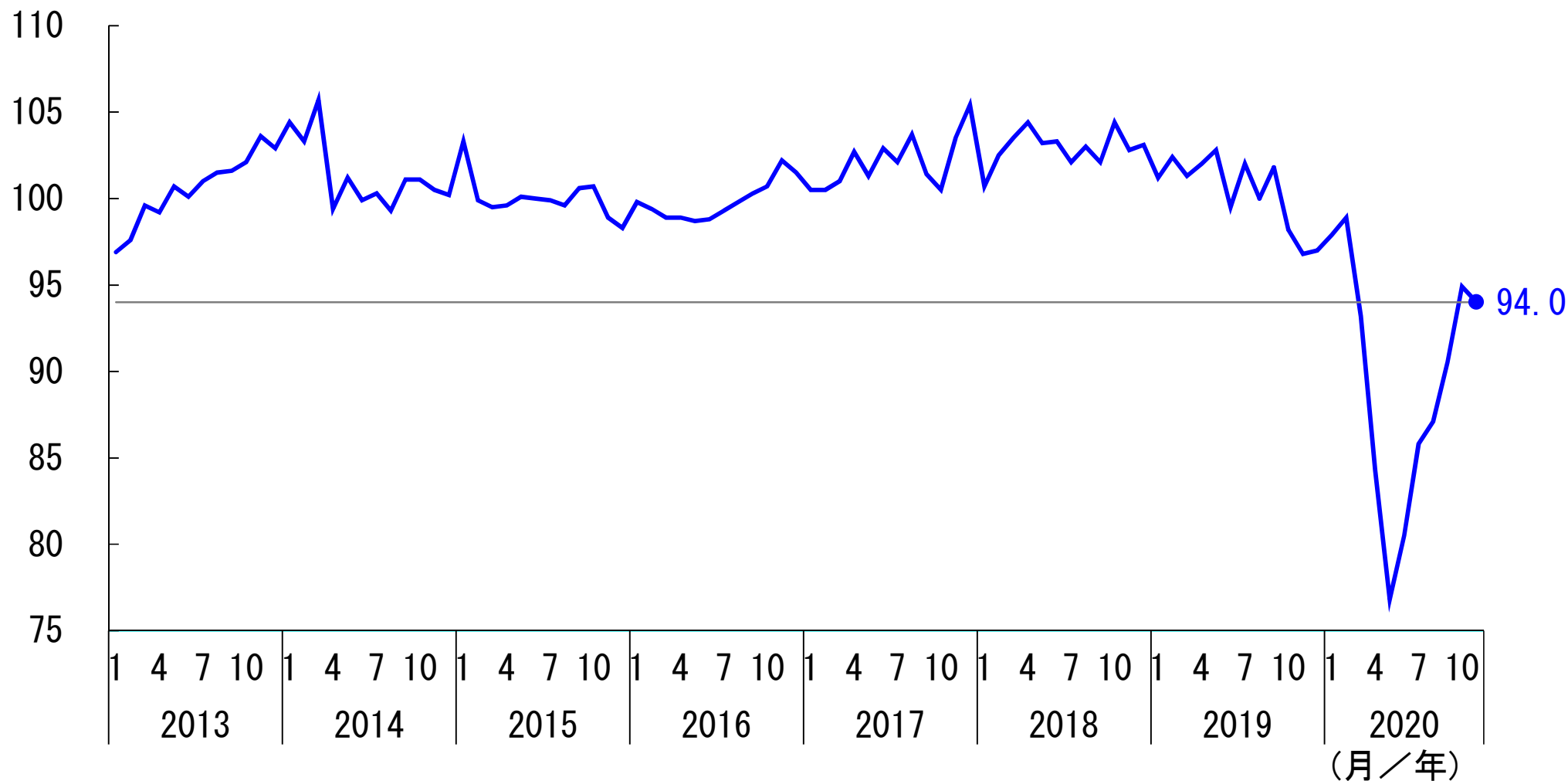
経済解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html>

鉍工業出荷指数の動向

・ 2020年11月の鉍工業出荷指数は94.0(前月比-0.9%)と6か月ぶりの低下。

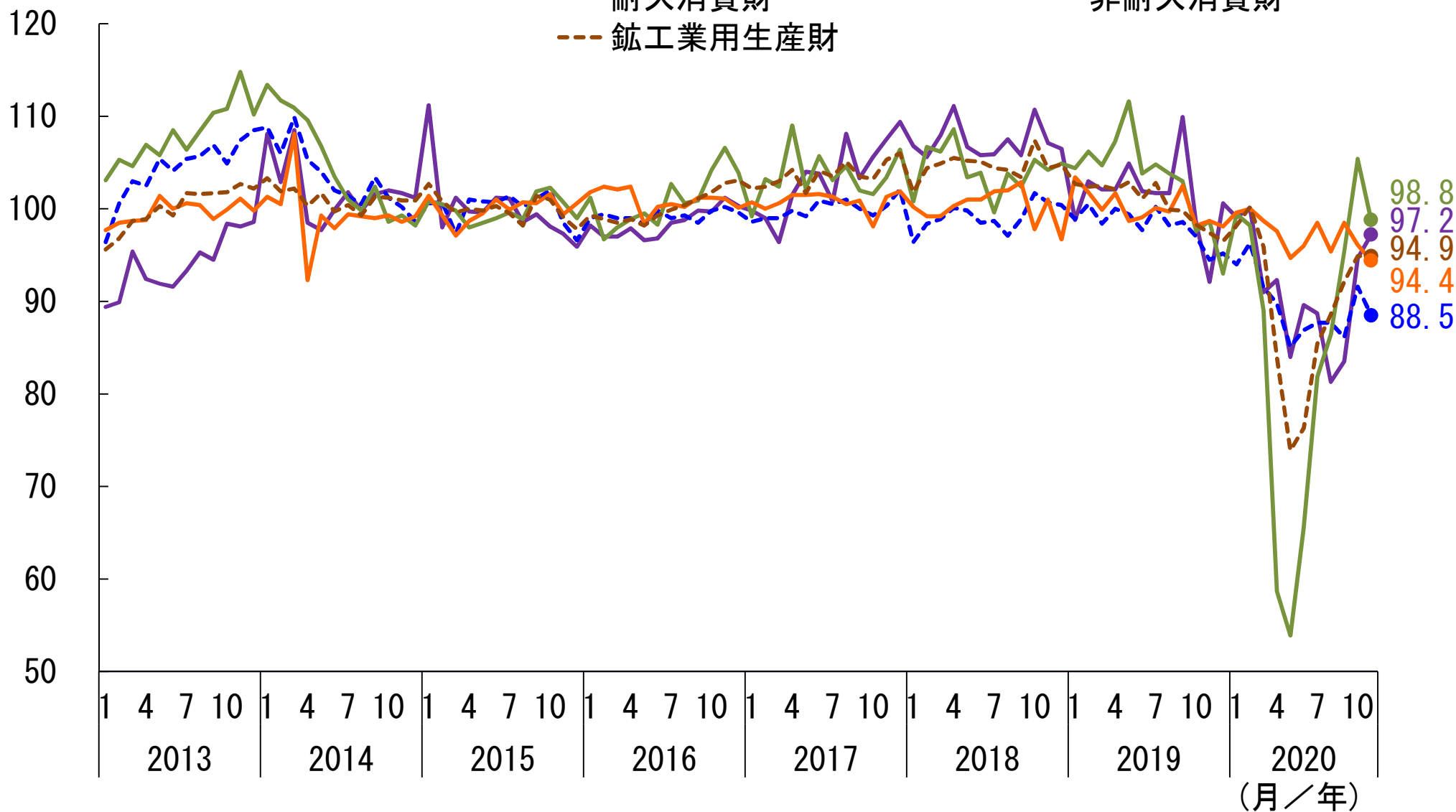
(2015年=100、季節調整済)



財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

- 資本財(除. 輸送機械)
- 耐久消費財
- - 鉱工業用生産財
- - 建設財
- 非耐久消費財



2020年11月の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

月次	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数 前月比	94.0 -0.9%	97.0 2.4%	93.4 -1.2%
指数水準	2020. 9 90.5以来 ①2020. 5 76.8 ②2020. 6 80.5 ③2020. 4 84.3	2020. 2 104.0以来 I 2018. 6 109.8 II 2018. 4 109.0 III 2017. 12, 2018. 8 108.9	2020. 9 91.6以来 ①2020. 5 78.8 ②2020. 6 82.4 ③2020. 4 86.3
前月比の動き	6か月ぶり- (2020.5以来)	6か月連続+ (2020.6~当月)	6か月ぶり- (2020.5以来)
前月比幅	2020. 5 -8.9%以来 ①2020. 4 -9.5% ②2020. 5 -8.9% ③2014. 4 -6.0%	2020. 10 8.0%以来 I 2020. 10 8.0% II 2020. 2 7.8% III 2014. 2 7.2%	2020. 5 -8.7%以来 ①2020. 5 -8.7% ②2020. 4 -8.6% ③2014. 4 -7.6%

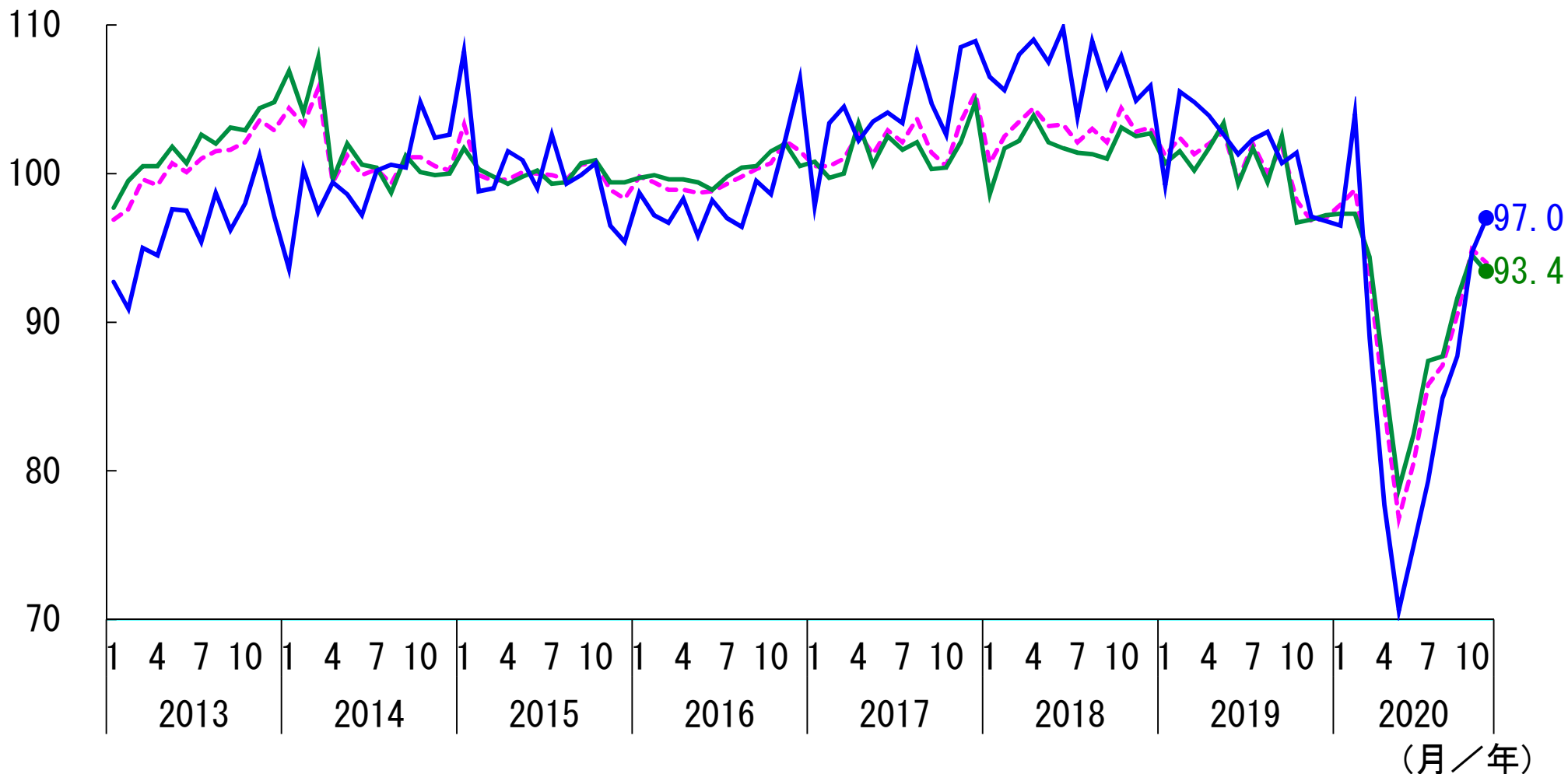
1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

国内向け／輸出向け出荷の動向

・2020年11月の鋳工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは93.4(前月比-1.2%)と6か月ぶりの低下、輸出向けは97.0(前月比2.4%)と6か月連続の上昇。

(2015年=100、季節調整済)

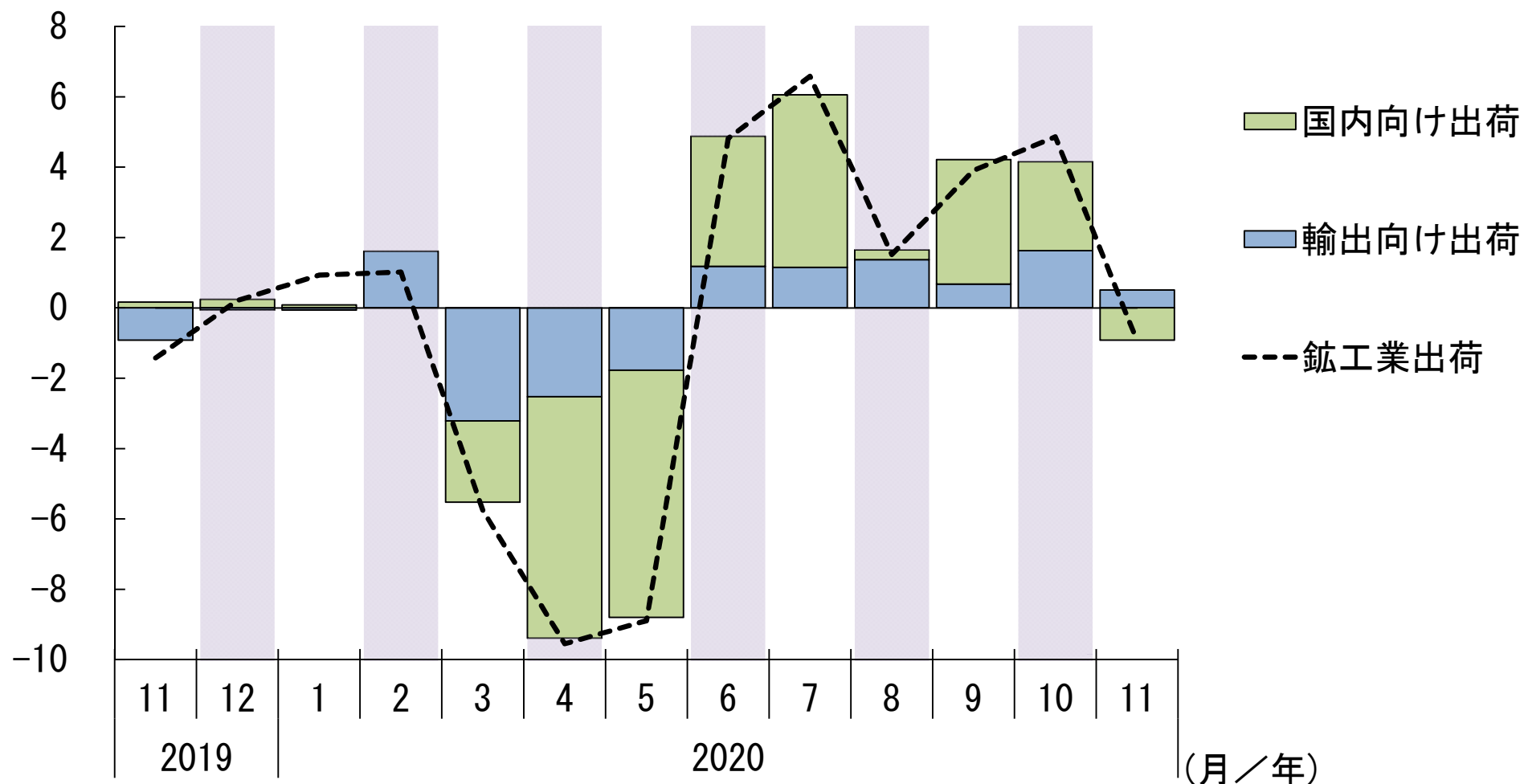
--- 鋳工業出荷 — 国内向け — 輸出向け



鉍工業出荷前月比 国内向け／輸出向け別の影響度合い

・2020年11月の鉍工業出荷は輸出向けは上昇したものの、国内向けは低下したため、前月比-0.9%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

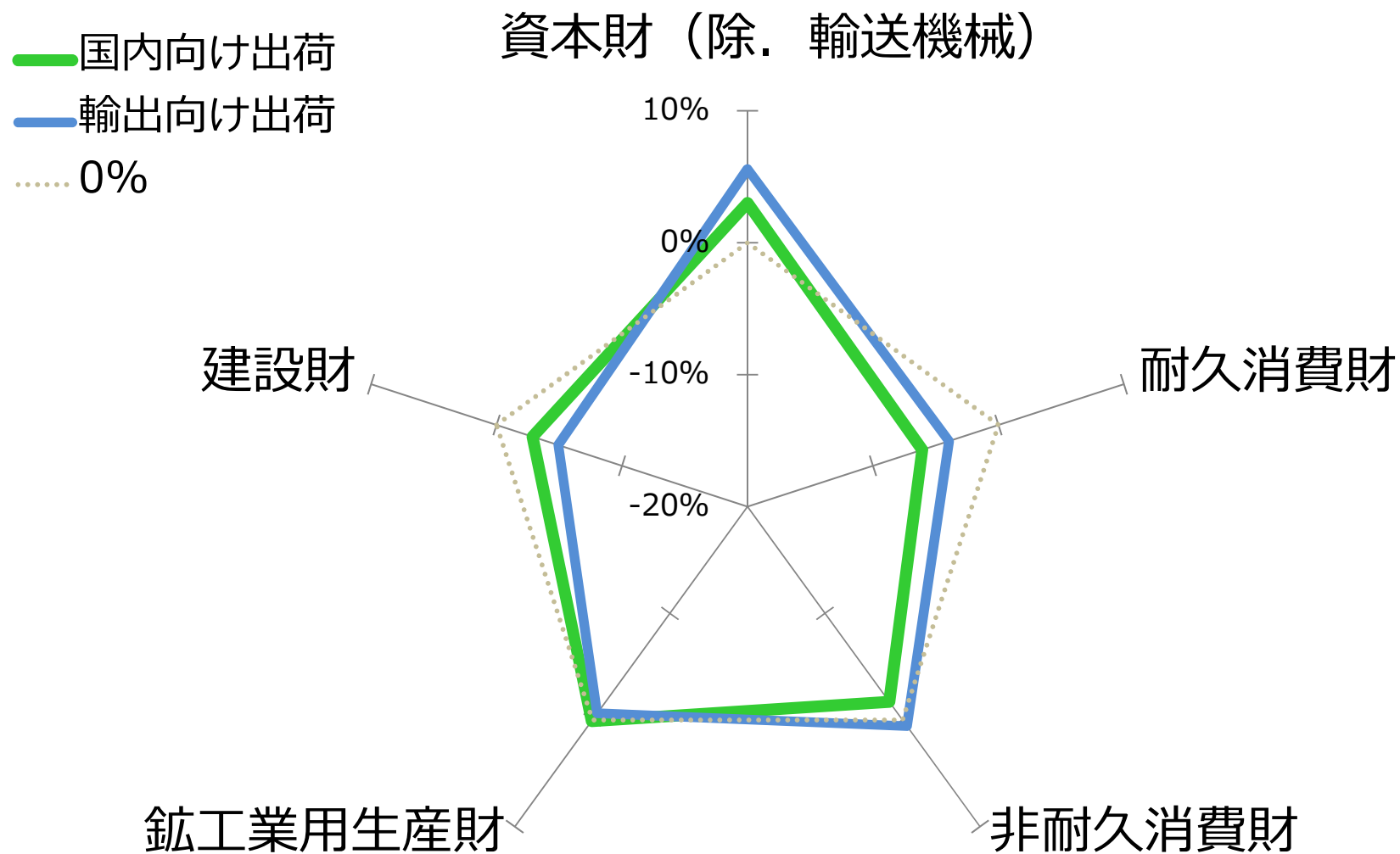


主要業種、財の出荷前月比 国内／輸出向け出荷の影響度合い

業種別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉄鋼・非鉄金属工業	-0.1	1.50	-1.54
生産用機械工業	6.8	3.19	3.40
汎用・業務用機械工業	5.4	5.51	0.64
電気・情報通信機械工業	-2.5	-2.37	0.37
輸送機械工業	-3.8	-5.12	0.89
化学工業(除. 医薬品)	-3.0	-2.11	-0.24

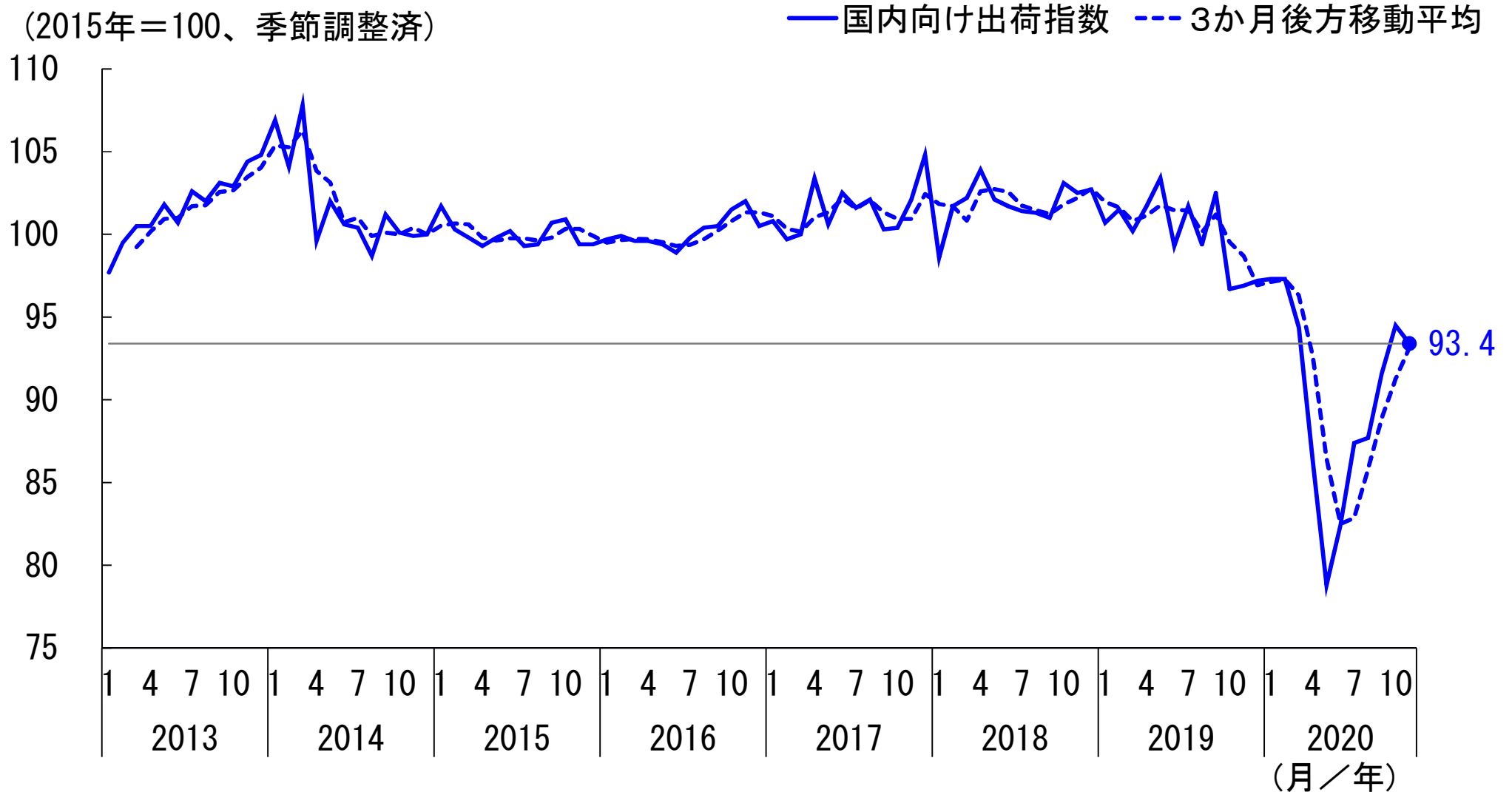
財別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉱工業用生産財	0.0	0.08	-0.15
資本財(除. 輸送機械)	2.6	1.92	1.97
建設財	-3.4	-2.65	-0.35
耐久消費財	-6.3	-4.61	-0.92
非耐久消費財	-1.8	-1.62	0.03

国内向け／輸出向け財別出荷指数前月比比較(2020年11月)



国内向け出荷指数の動向

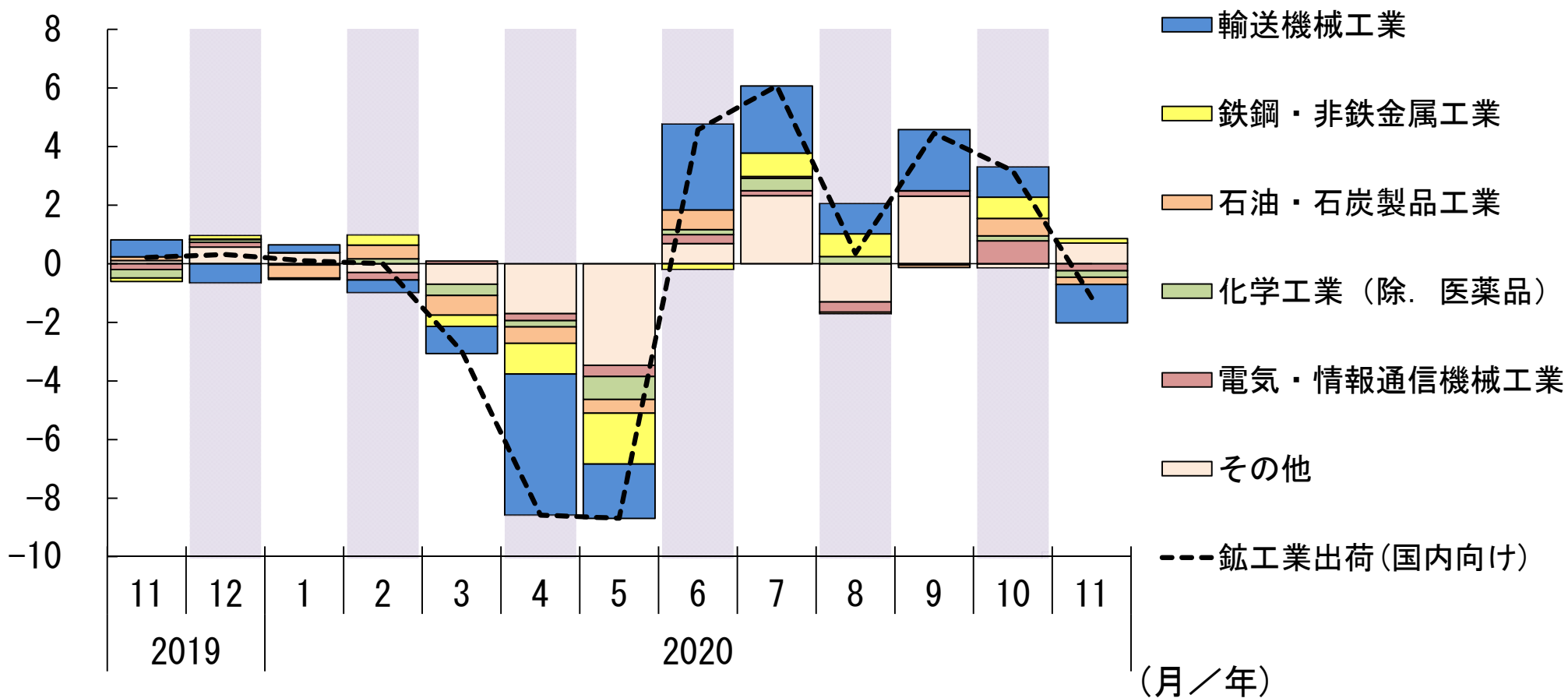
・ 2020年11月の国内向け出荷指数は93.4(前月比-1.2%)と6か月ぶりの低下。



国内向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・ 2020年11月の国内向け出荷を主要業種別にみると、鉄鋼・非鉄金属工業が上昇したものの、輸送機械工業などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

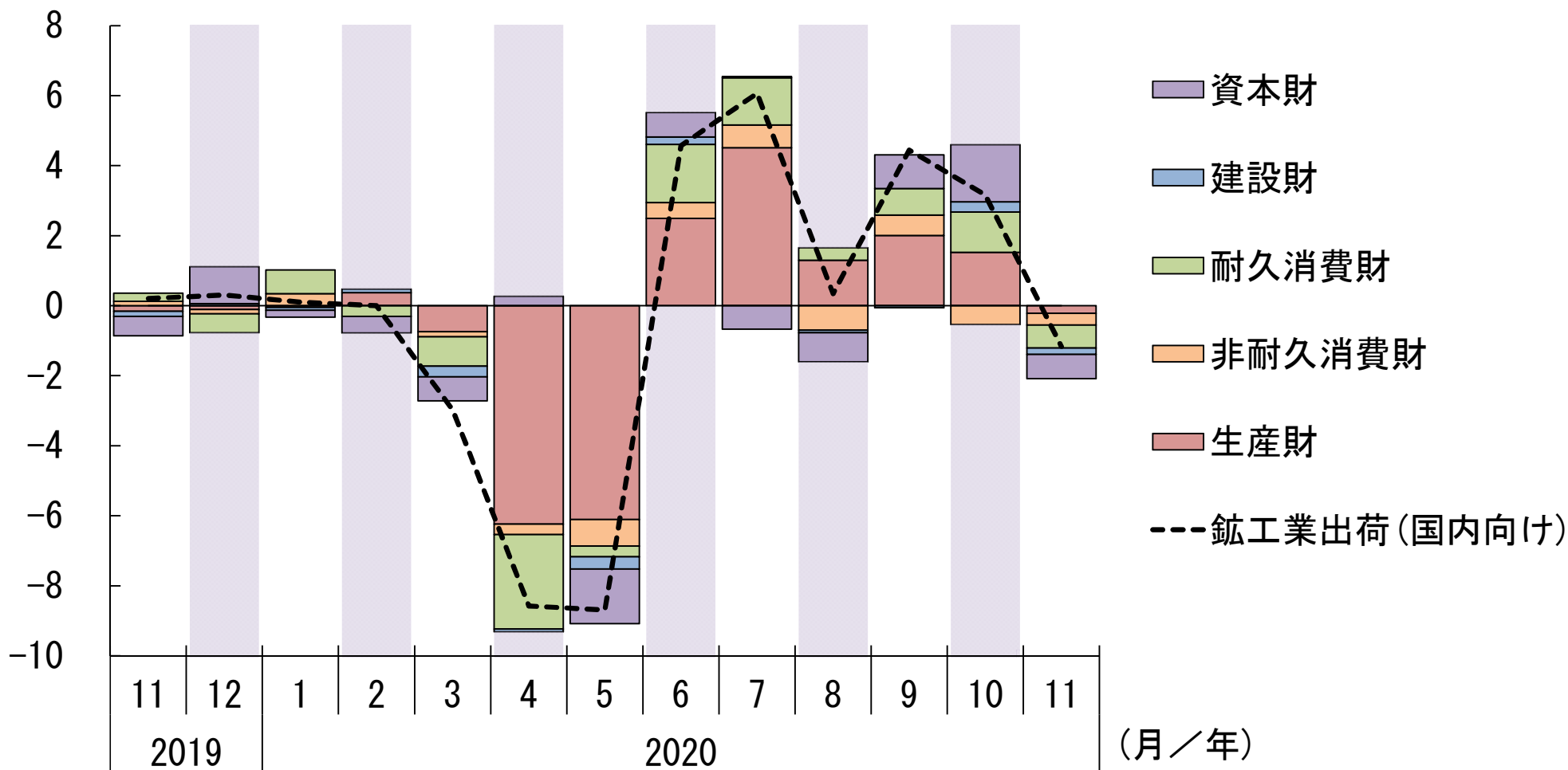


(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

・ 2020年11月の国内向け出荷を財別にみると、資本財などが低下。

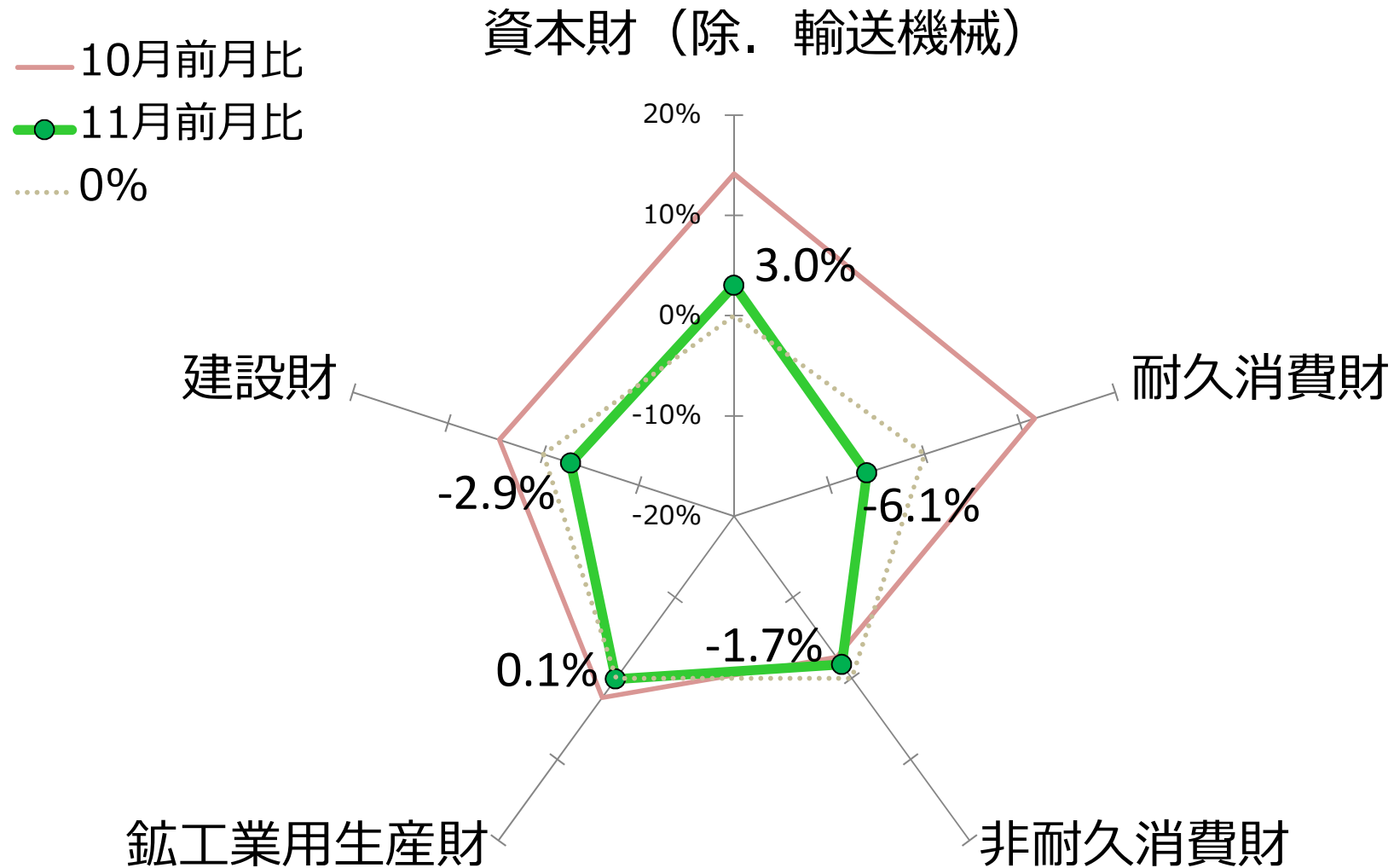
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2020年11月の国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

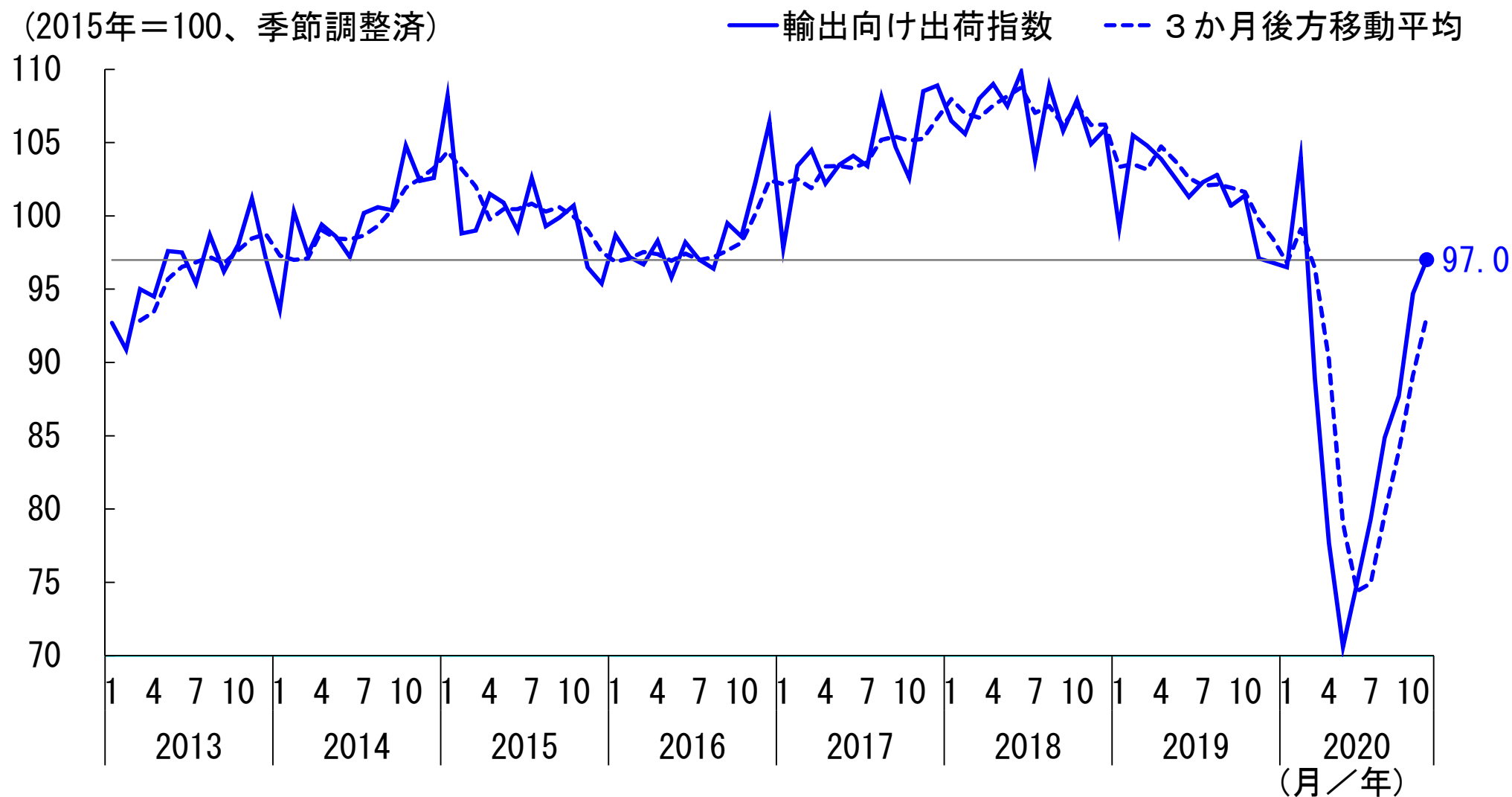
財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	-1.2	—
耐久消費財	-6.1	-0.66
非耐久消費財	-1.7	-0.34
建設財	-2.9	-0.18
その他用生産財	-1.4	-0.11
鉱工業用生産財	0.1	0.05
資本財(除. 輸送機械)	3.0	0.28

国内向け財別出荷指数前月比の比較(2020年10月、11月)



輸出向け出荷指数の動向

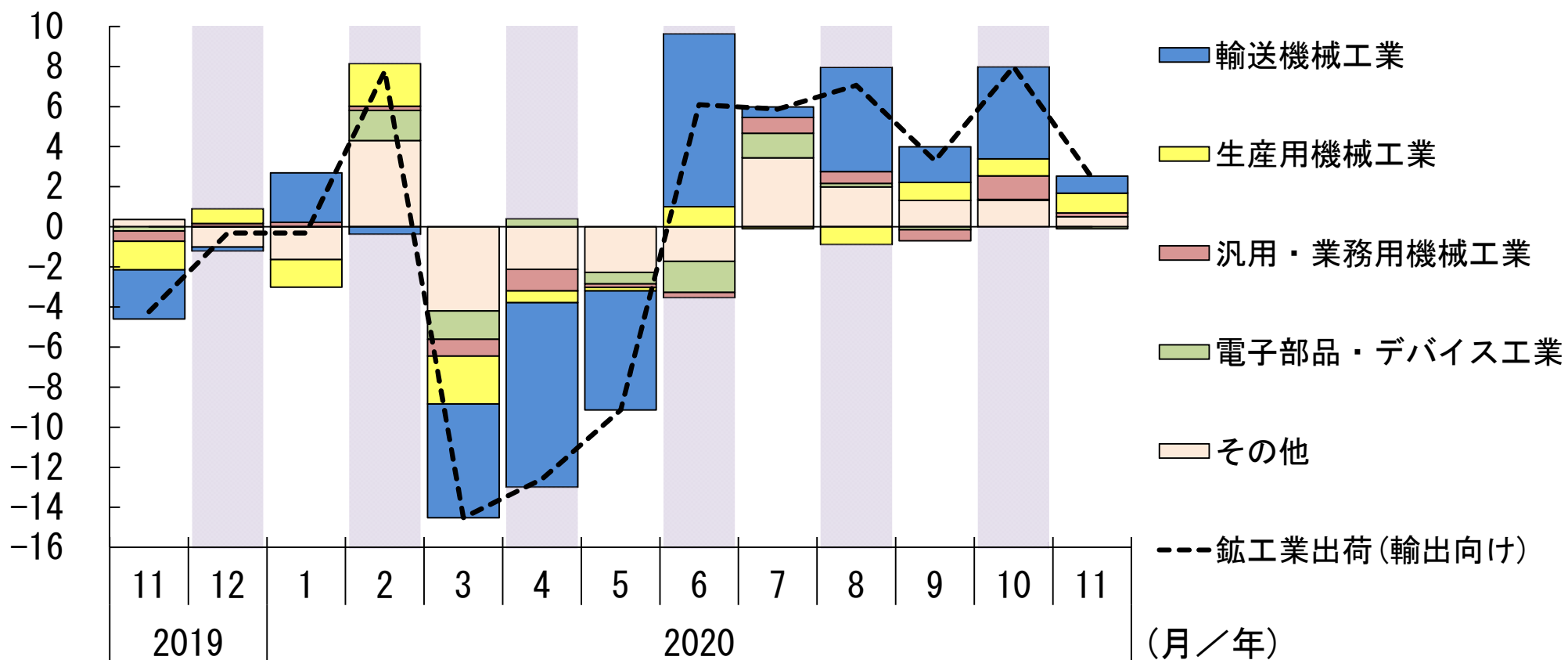
・ 2020年11月の輸出向け出荷指数は97.0(前月比2.4%)と6か月連続の上昇。



輸出向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・ 2020年11月の輸出向け出荷を主要業種別にみると、電子部品・デバイス工業が低下したものの、生産用機械工業などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

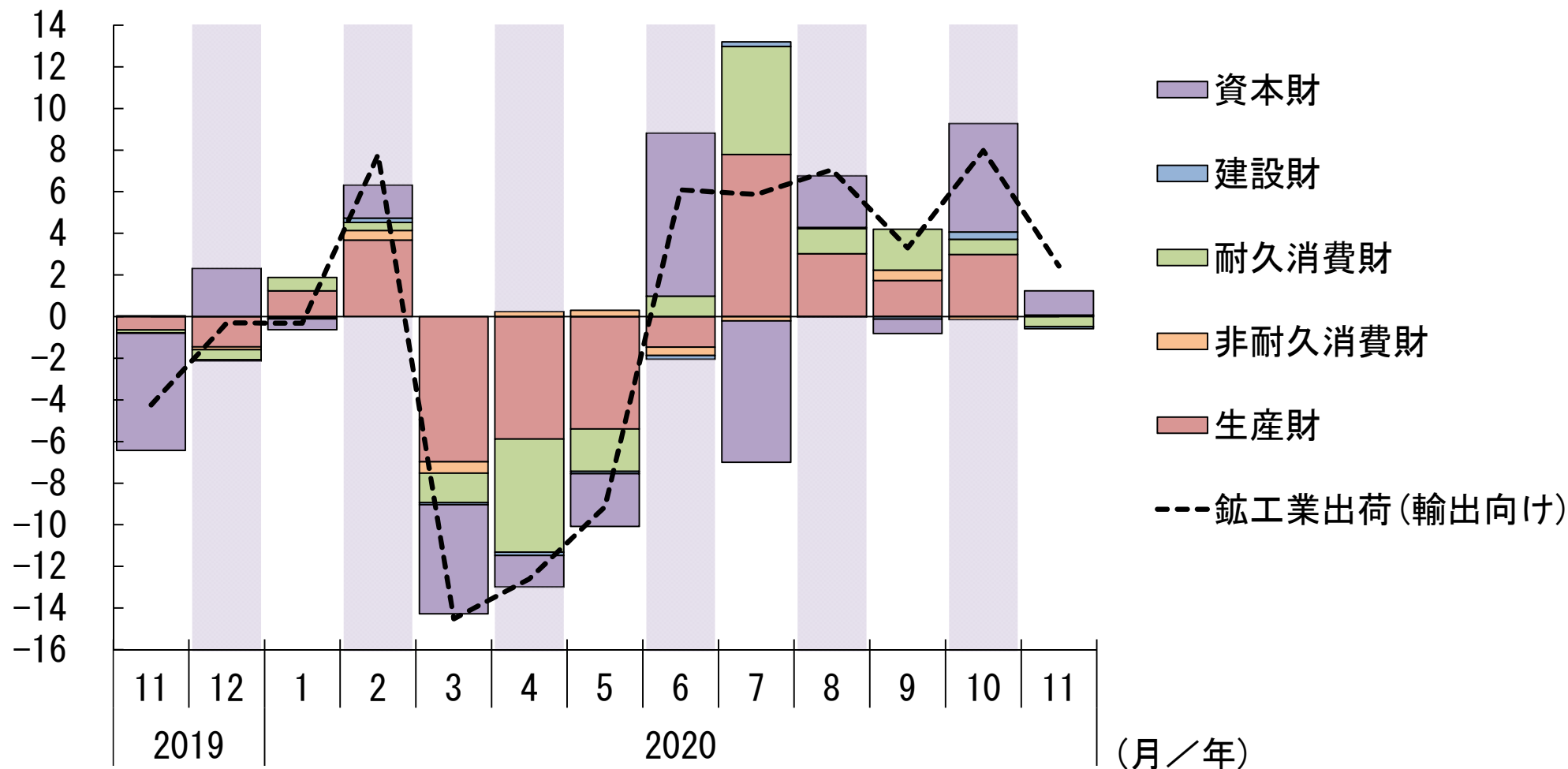


(注) 主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。

輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

・ 2020年11月の輸出向け出荷を財別にみると、耐久消費財などが低下したものの、資本財などが上昇。

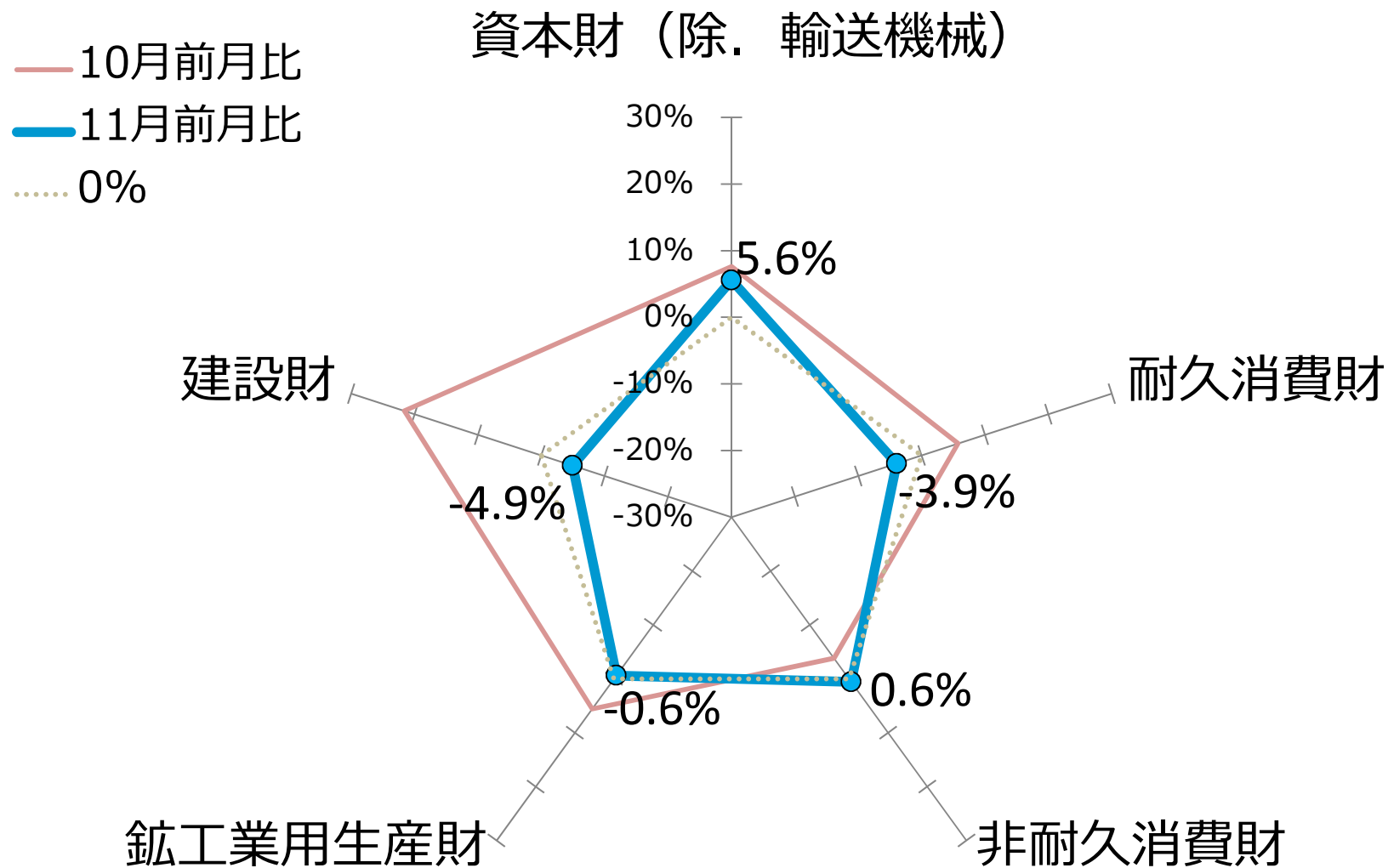
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2020年11月の輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	2.4	—
資本財(除. 輸送機械)	5.6	1.08
その他用生産財	5.9	0.08
非耐久消費財	0.6	0.02
建設財	-4.9	-0.09
鉱工業用生産財	-0.6	-0.33
耐久消費財	-3.9	-0.49

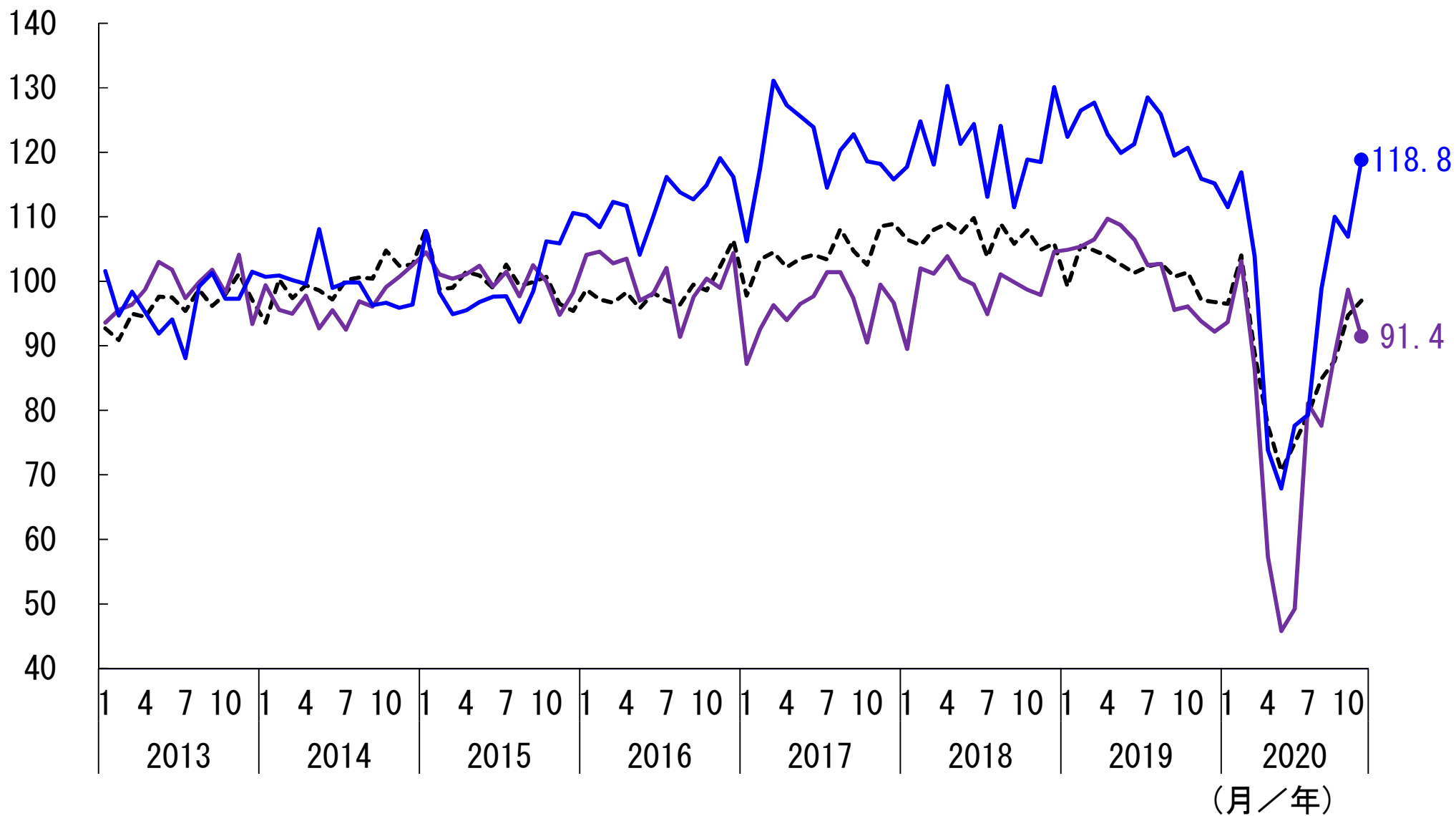
輸出向け財別出荷指数前月比の比較(2020年10月、11月)



欧米向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

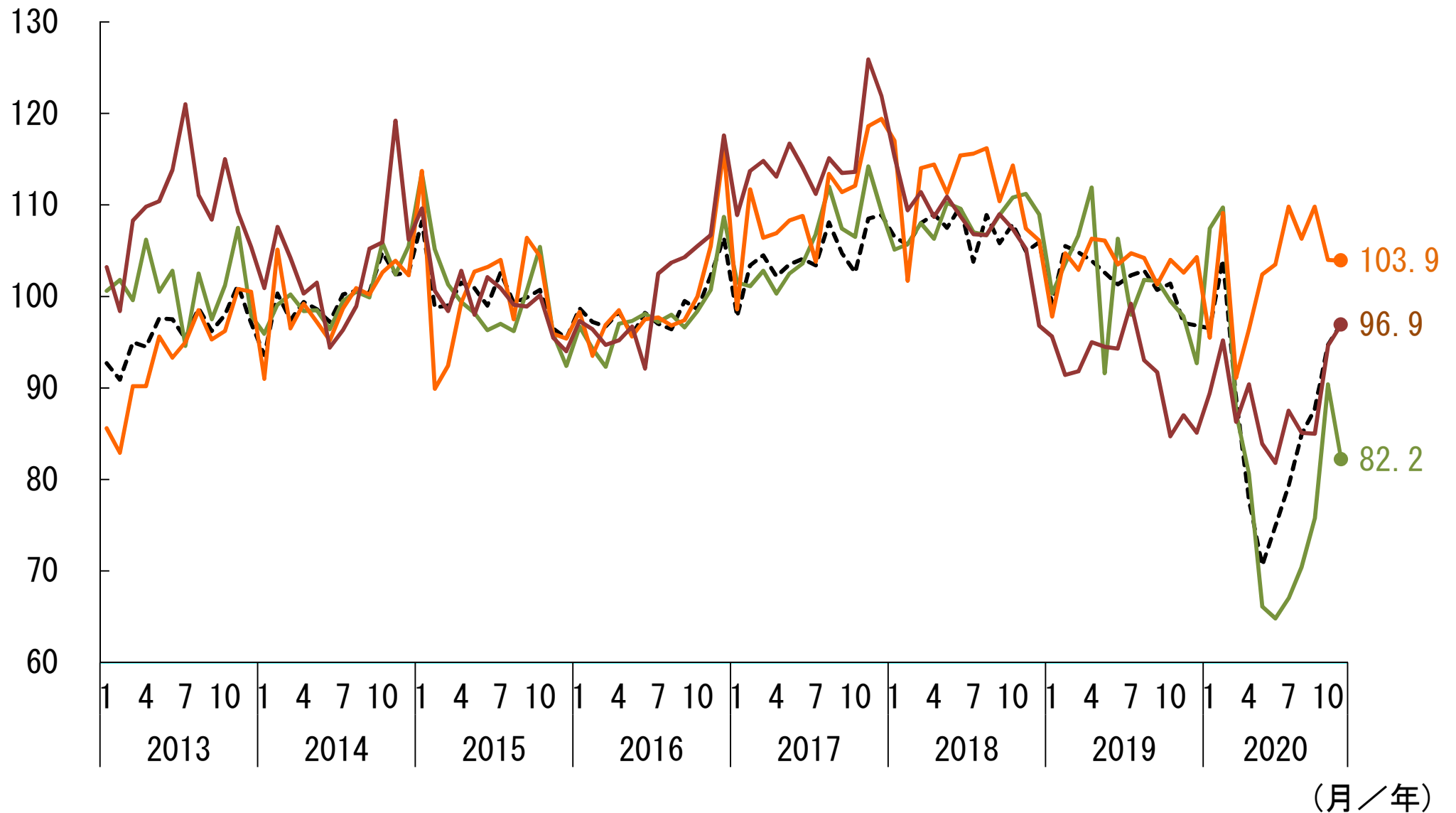
--- 輸出向け出荷 — 米国向け — 欧州向け



(注) 貿易統計に基づく試算値

アジア向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済) --- 輸出向け出荷 — ASEAN向け — 中国向け — 韓国向け

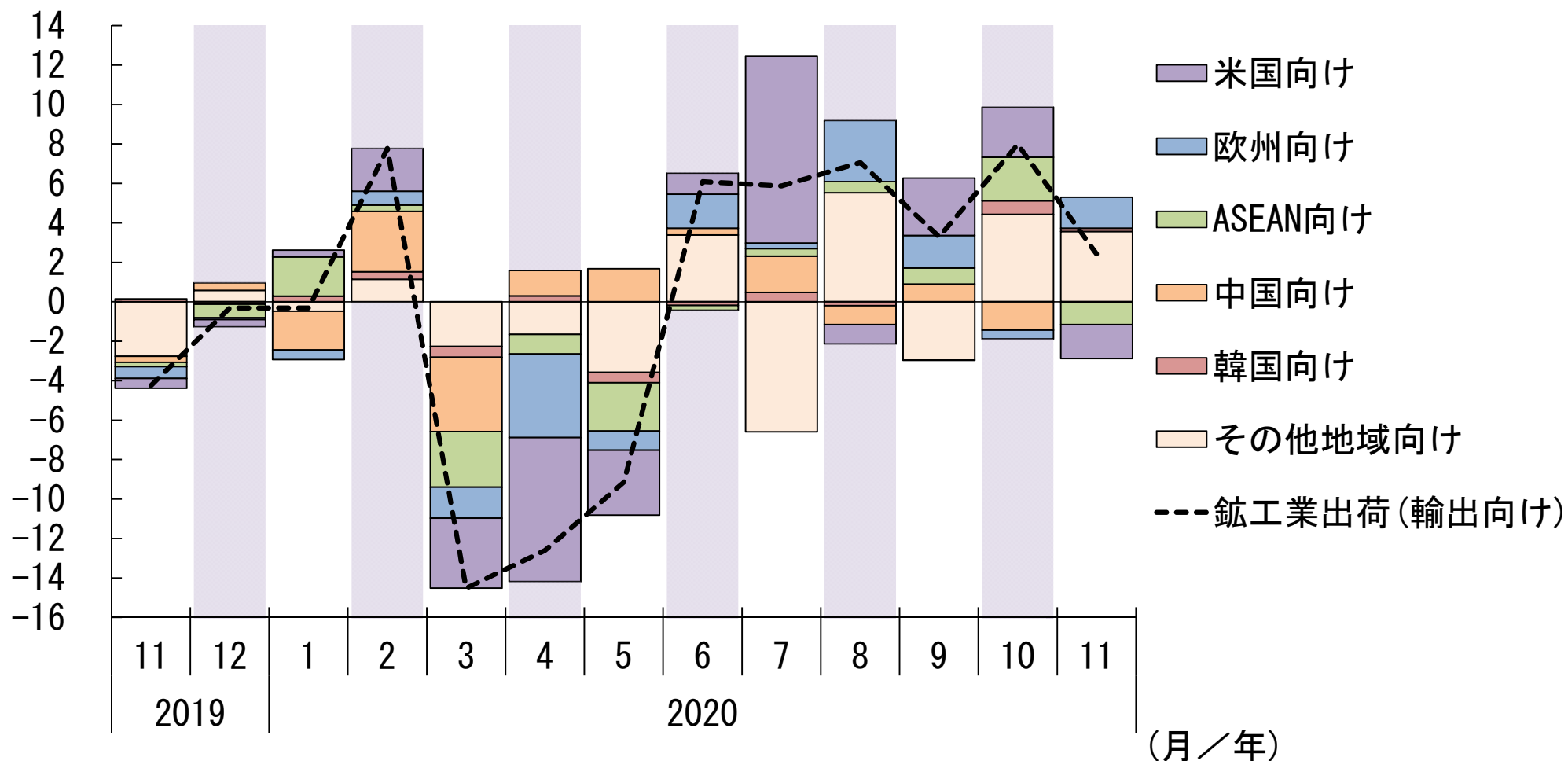


(注) 貿易統計に基づく試算値

輸出向け出荷前月比 地域別の影響度合い

・ 2020年11月の輸出向け出荷を地域別にみると、米国向けなどが低下したものの、欧州向けなどが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注) 貿易統計に基づく試算値

2020年11月の鉱工業総供給表の状況

総供給・国産品供給・輸入品供給

月次	総供給	国産	輸入
季調済指数 前月比	93.5 -1.4%	93.5 -1.1%	94.4 -0.2%
指数水準	2020.9 91.0以来 ①2020.5 81.4 ②2020.6 84.0 ③2020.7 87.5	2020.9 91.7以来 ①2020.5 78.9 ②2020.6 82.5 ③2020.4 86.4	2020.9 90.3以来 ①2020.2 84.9 ②2020.6,7 87.8 ③2020.8 88.5
前月比の動き	6か月ぶりー (2020.5以来)	6か月ぶりー (2020.5以来)	5か月ぶりー (2020.6以来)
前月比幅	2020.5 -9.4%以来 ①2020.5 -9.4% ②2014.4 -8.2% ③2018.1 -5.9%	2020.5 -8.7%以来 ①2020.5 -8.7% ②2020.4 -8.5% ③2014.4 -7.7%	2020.6 -0.9%以来 ①2020.2 -13.5% ②2020.5 -11.5% ③2014.4 -10.5%

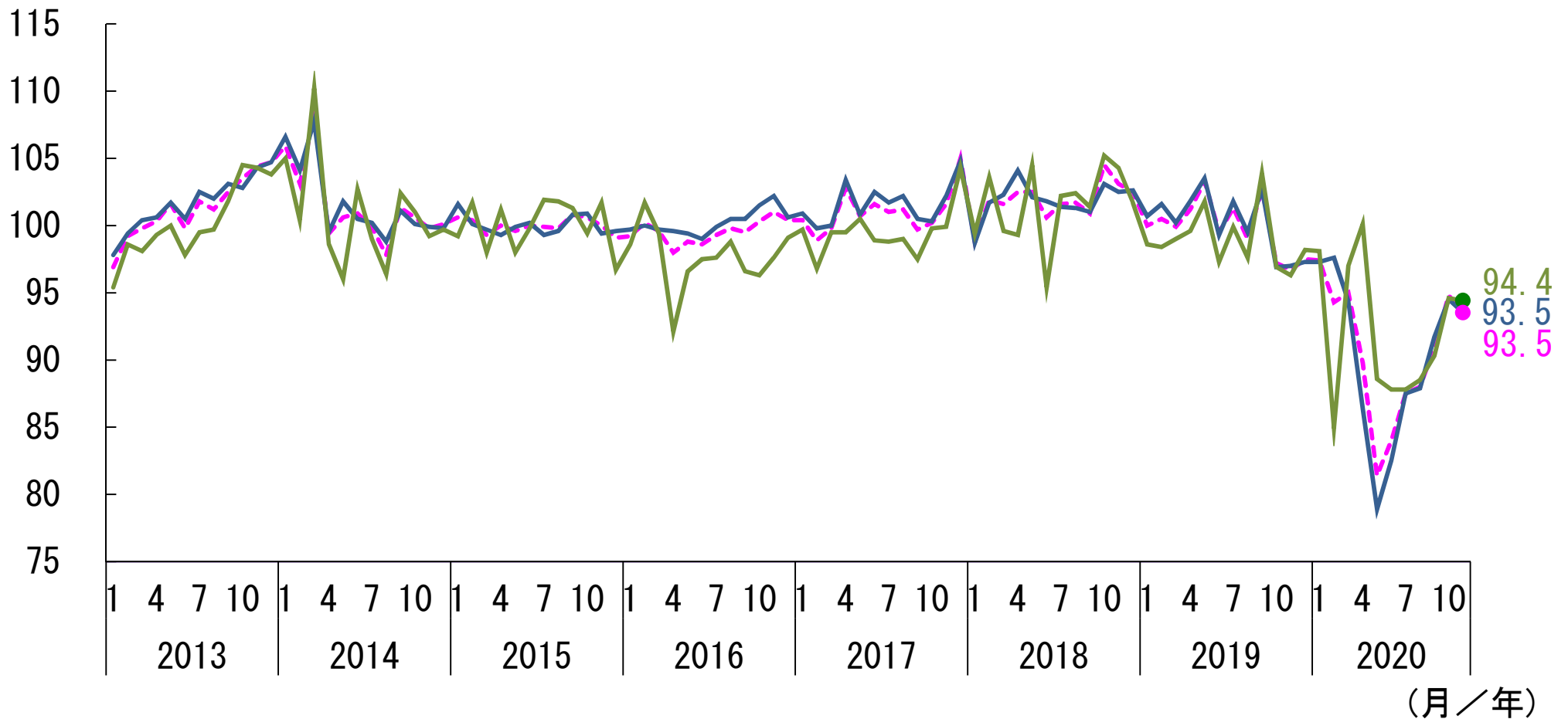
1) ①～③は2015年基準における最小値から下位3位までの数値

鉍工業総供給指数の動向

・2020年11月の鉍工業総供給指数は93.5(前月比-1.4%)と6か月ぶりの低下。
 ・内訳をみると、国産は93.5(前月比-1.1%)と6か月ぶりの低下、輸入は94.4(前月比-0.2%)と5か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)

--- 鉍工業総供給 — 国産 — 輸入



輸入品供給指数の動向

・ 2020年11月の輸入品供給指数は94.4(前月比-0.2%)と5か月ぶりの低下。

